

PPPI

パワーアップ
フラクティス講座!

南大阪地域大学コンソーシアム

2023年度 単位互換
センター科目

3日間集中講座

「キャリアと社会」

社会の中で自分を生きかす方法

ミッション

「関空の利用客をどう泉州、南大阪に連れてくるか」

社会人として求められている“大切なチカラ”それは「論理力」「プレゼンテーション能力」「主体性」「課題発見・解決能力」。

この講座では、グループ学習や、関空でのフィールドワークなどを通じて、これらの全てを身に付けることをめざします。

また、多彩なコメンテーターや、他大学の学生さんたちとの、すばらしい出会いの場があります。

この3日間で、あなたも、学び、考え、行動する人になりませんか？ あなたの企画提案が、実際に採用されるかも！？

普段と違う環境でグループ学習やフィールドワークをしてみませんか。

受講定員 30名
参加者募集中!
※申込締切後に、選考を行います。

この講座は南大阪地域大学コンソーシアムの単位互換制度の「センター科目」です。評価に応じて、所属大学で単位が認定されます。



加太国民休暇村

- 幹事校：羽衣国際大学
- センター科目名：「キャリアと社会」—社会の中で自分を生きかす方法— 2単位
- 期間：2023年9月4日(月)・5日(火)・6日(水)
- 場所：加太国民休暇村 (〒640-0102和歌山市深山483)
- 参加費：29,800円 (2泊朝夕、昼2) ※関空・泉州地域へのフィールドワークの交通費負担別途あり
- 締切日：2023年7月14日(金)
- 申込み方法：所属大学の教務課(学務課)の窓口担当者にお申込み下さい。
- 参加条件：南大阪地域大学コンソーシアム単位互換制度参加大学の学生
(大阪大谷大学、大阪芸術大学、近畿大学生物理工学部、高野山大学、清風情報工科学院、帝塚山学院大学、羽衣国際大学、和歌山大学、教育ネットワーク中国、キャンパス・コンソーシアム函館、ふじのくに地域・大学コンソーシアム)
- ミッション提供者：関西エアポート株式会社、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー、株式会社南海リサーチ&アクト

*講座の詳しいお問い合わせは、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム事務局へ

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 130-42 さかい新事業創造センター 1F

TEL 072-258-7646 FAX 072-258-7641 URL www.osaka-unicon.org

協力：関西エアポート株式会社、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー

南大阪地域大学コンソーシアム
2023年度 単位互換
センター科目

2泊3日集中講座 「キャリアと社会」

社会の中で自分を生かす方法

講座プログラム

1日目 9/4 (月)	2日目 9/5 (火)	3日目 9/6 (水)
受付開始、出欠確認 (9:30)	(9:00)	(9:00)
開講挨拶 講師紹介	講義③「チームでワークする」 ワーク「企画書を作ろう！」 ・切り口やテーマを 実地にて確認してくる。	ワーク「リハーサルへむけた仕上げ」 ・企画、プレゼンテーションの内容を ブラッシュアップ
オリエンテーション リーダー決め、グループ決め ワーク「宿題の共有とテーマの理解」 取り組みたいテーマについて話し合う チーム内の役割を決める ミッション提示 講義①「フィールドワークに出よう！」	ワーク「企画書を作ろう！(中間報告)」 ・チーム同士で企画の中間報告 企画書練り直し	リハーサル
昼食		
フィールドワーク ・チーム同士で企画の中間報告 ・チームで着目した地域をFW ・写真やインタビューなどの情報収集 ・違いや新たに発見したことを記録 ・FWで見つけられなかった点も記録	講義④「論拠を示そう！」 関空関係者への質問コーナー 企画書づくり 講義⑤「効果的なプレゼンテーションを しよう！」 ワーク「企画書からPowerPointのプレゼン テーション用の資料を作成しよう！」 中間プレゼンテーション	最終プレゼンテーション !! 振り返り 審査会 全体講評 審査結果発表 修了式 写真撮影
夕食		
ワーク「泉州の徹底分析とテーマの絞り込み」 テーマ発表「企画書のテーマを発表しよう！」 講義②「企画書を作ろう！」 ワーク「企画書の現状分析」 ・企画シートの提案、 工夫を考える。 振り返り	ワーク「企画のブラッシュアップ」 振り返り	

※プログラムは予定です。変更となる場合がございます。

学生の声

- 👉 こんなに必死で協働したことはないくらいがんばることができた。
- 👉 物事を考え、それが相手に少しでも伝わったときの達成感を知った。
- 👉 私にとって、とても忘れられないチームに出会えてよかった。
- 👉 グループで課題に取り組むときの自分の役割の果たし方や、最後まであきらめないでやり遂げる大切さを学んだ。
- 👉 単なる思いつきだけでなく重要なのはその裏付けだということを学んだので、実際にプレゼンや論文の作成の際に生かしたい。

指導教員

- 日向 浩幸 (羽衣国際大学 現代社会学部 教授)
- 森本 和義 (羽衣国際大学 現代社会学部 教授)
- 小谷 卓也 (大阪大谷大学 教育学部 教授)
- 宮竹 愛子 (羽衣国際大学 現代社会学部 准教授)
- 井本 直美 (清風情報工科学院 デザイン・コンピューター学科)